

東京女子高等師範學校附屬幼稚園編

(再版)

觀察の實際

菊判 一三〇頁
定價 金壹圓
送料 東京 金六錢
市内 金九錢
其他 金九錢

○觀察の實際については何か参考したいといふ御希望は皆様から常に伺ふ所、本書はその爲に最も適切親切なる書である。

日本幼稚園協會編

幼稚園談話集 (四版)

菊版 三五〇頁
送料 市内 定價 金壹圓五拾錢
地方 北海道・臺灣 金六錢
樺太・朝鮮・滿洲 金拾五錢

東京女子高等師範學校附屬幼稚園編

系統的保育案の實際 (四版)

定價 金壹圓
送料 金六錢

幼兒の教育 (月刊)

一ヶ月 金參拾五錢 送料 金一錢
一ヶ年 金四圓貳拾錢 送料 共

文 部 省 推 薦 圖 書

幼 兒 教 育 論



〔五版出來〕

法政大學教授

城戸幡太郎著

¥ 一・八〇
千 一・一四

去る三月三日雜祭りの夜ヲ
才を通じて全國に弘く放
送された本書の内容につい
ては今更贅言を要しないと
信じます。

幼児を直接指導される保母
様は勿論、あまねく世のお
母様方にも是非読んで戴き
たいと思ひます。

— 網 大 次 目 —

- 一 就學前教育の重要性 ○我等は何をなすべきか ○幼児教育の歴史と問題 ○幼児教育と國民教育 ○幼兒生活と保育者
- 二 社會事業と保育事業 ○フレibelとオーウエン ○社會事業と兒童問題 ○貧困兒童の問題 ○養育院 ○養育院の問題 ○農村における保育事業の託兒所と母親學校
- 三 保母の立場と教養 ○利川厚生院の教育 ○保母は子供に何を求むべきか ○子供の保母に何を求めてゐるか ○保母の教養 ○保母養成の問題
- 四 幼兒教育の研究法 ○學問研究の態度 ○兒童心理學の發達 ○保育問題の解決法 ○自由遊びについての調査 ○遊具と幼兒の社會性
- 五 幼兒生活の指導法 ○幼兒指導の態度 ○幼兒と言葉の訓練 ○子供の問と答 ○子供の嘘について ○子供の生活指導 ○兩親教育の問題

法政大學教授 城戸幡太郎著

¥ 一・八〇
千 一・一〇

生活技術と教育文化

東京帝大講師 青木誠四郎著

¥ 三・五〇
千 三・二〇

兒童心理學

東京文理大講師 波多野完治著

¥ 二・八〇
千 二・一〇

兒童生活と學習心理

大和郡幼稚園 坂内ミツ著

¥ 一・五〇
千 一・〇〇

幼稚園の生活

東京神田區一ツ橋二丁目 賢文館 刊 月刊教育新潮 各書內容見申本進呈

第拾貳回保育夏期講習會豫告

主催 佛教保育協會

本會主催保育夏期講習會は皆様の御援助により昭和四年創立以來毎年一回も休まず本夏を以て第拾貳回を迎へました。然かも昨年は定員を超過すること百六拾餘名に及び會場等の都合によりお断りいたしました様な次第であります。

本年は特に皆様の御便利を圖り會場を帝都の中心地である京橋區銀座東京市立泰明尋常小學校(銀座スキヤ橋畔)とし定員も四百名に増し鐵道も五割引の交付を受くる様目下準備中であります。又多數御來會の程お待ち申してをります。

要 綱

一、期 日 昭和十五年七月二十七日ヨリ三十一日マデ五日間 (毎日 午前八時ヨリ午後四時マデ)

一、會 場 東京市京橋區銀座スキヤ橋畔(日劇前)

東京市立泰明尋常小學校

(省線 有樂町驛下車約半丁)
(市電 スキヤ橋下車)

一、講師及科目

一、國民學校ト幼稚園トノ連絡(二時間)

東洋大學教授 關 寛 之氏

一、銃後婦人ノ覺悟(二時間)

前京都女子専門學校長 朝 倉 曉 瑞氏

一、幼兒ノ榮養(二時間)

理學博士 佐 伯 矩 規氏(交渉中)

一、幼兒ト體育(二時間)

交 渉 中

一、童畫ノ導キ方(二時間)

石 井 柏 亭氏(交渉中)

一、幼兒唱歌ノ導キ方(四時間)

四 家 文 子氏

一、手 技 指 導(六時間)

卜 部 九 み氏

一、遊 戲 指 導(六時間)

江口、宮舞踊研究所長 江 口 隆 哉氏(交渉中)

一、同 (七時間)

タンダバツハ舞踊研究所長 賀 來 琢 磨氏

一、講習料 金 參 圓

一、定 員 四 百 名(申込期限七月二十日)

一、宿 泊 一泊二食付一圓五十錢ニテ會場ヨリ約五丁築地本願寺宿泊部ヲ紹介

一、鐵道割引 五 割 引

一、申込所 東京市京橋區築地二丁目、築地本願寺社會部内

佛教保育協會夏期講習會事務所宛

倉橋惣三編 (新刊)

新體幼稚園唱歌

四六倍判
定價(送料共)
金七拾錢

目 日本国旗の丸の旗
次 道ぶしん
倉橋惣三 作詞
小松耕輔 作曲
井上武士 作詞

いうびんやさん 倉橋惣三 作詞
弘田龍太郎 作曲
渡し場の船頭さん 倉橋惣三 作詞
中山晋平 作曲
火消しのなちさん 倉橋惣三 作詞
小林つや江 作曲

日本幼稚園協會編 (新刊)

幼稚園新唱歌

四六倍判
定價(送料共)
金五拾錢

目 だ
次 雨
山村耕輔 作詞
小松耕輔 作曲
小杉米子 作詞
小松耕輔 作曲

ほたる 青山綾子 作詞
小松耕輔 作曲
ふしん 小松原 作詞
氏原 作詞
小松耕輔 作曲

〇この二つの新刊幼稚園唱歌集は、幼稚園の爲に新しい歌曲を求めて居らるゝ方々に必ずや充分歓迎せらるゝことを期待してゐる。